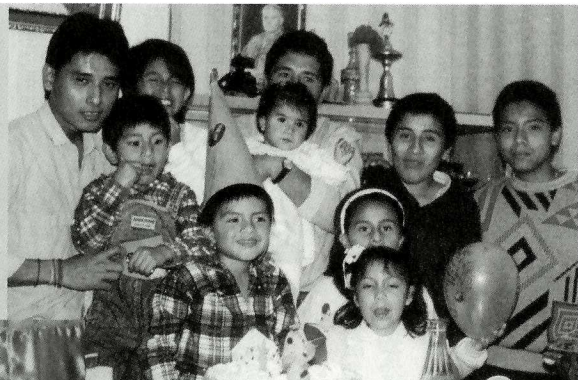


ペルーで5歳の誕生日を祝う
(前列帽子をかぶっている子ども)



18歳でペルーの成人式を祝う



6歳で来日後、はじめて地域の祭りに参加(前列左)

高校の卒業式で(前列中央)



プロデビュー戦

外国人 と生きる

ペルー出身のプロボクサー

吉富 志津代 (よしとみ しづよ)
NPO法人 多言語センターFACIL

NPO法人 多言語センターFACIL (神戸を中心に外国人コミュニティ支援のための多言語サービス事業を展開している)

ペルー国籍のファン・ロドルフォ・カステイロ・ガルシアは、一九八四年一月三日生まれの二三歳。日本ではたぶんはじめての、ペルー人ライト級プロボクサーだ。彼のことを、みんなTOTOとよぶ。プロになってから半年、デビュー戦を含む二回の試合にはいずれも勝っている。ちよつとありきたりな質問だが「今後の目標は？」とたずねると、意外にも「特にはないんです」と笑顔が返ってきた。「ボクシング一筋という人生はいやなんです」。試合で愛用しているトランクにはTOTOのネームとともにPERUという文字も書かれている。やはりペルー人ということを書いてみたいのかと問うと、「ただ単にこのアルファベットのデザインが好きだけ」だそう。経歴からつい予想しがちな、「必死で頑張る外国人」というイメージとはずいぶん違う青年であった。

TOTOが親に連れられて日本にきたのは、六歳のとき。幼かったためかこゝろで苦労をした記憶はない。今では日本語の方が第一言語で、スペイン語は親と日常的な会話のときに何とか話せる程度。親と複雑な内容の話をかわすときは辞書が必要なのもあるという。

ボクシングが与えてくれた自信

勉強は嫌いだ。中学三年生になっ

張ってほしい」としかいえないこともあ
る。でも自分のことが誰かの励みになる
ということは、間違いなく自分がボクシ
ングを続ける原動力のひとつになってい
るという。

TOTOと話していると、ボクシング

てまわりがみんな高校受験のための勉
強一色になっているところ、たまたま母の
友人が開いていたボクシングジムに通
い始めた。体を鍛えることが好きだった
から、「何となく」行ってみたいという。この
ときは三カ月でやめたが、その後、たまた
まボクシング部のあった夜間高校に進学
してボクシングを続けることになる。と
はいえ性格はいたって温厚で喧嘩もあま
りしないタイプ、いわゆる反抗期もなか
ったというTOTOだが、今では「リング
にあがると人が変わる」とみんなに言わ
れるらしい。

中学生時代まではひどい人見知り
で無口、はじめて会った人とは口もきけな
いぐらだった。しかし、高校でボクシ
ングの試合に勝つごとに自分に自信を
持ち始め、卒業のころにはクラスでも賑
やかすぎて、先生にはよく「静かにしろ」
と言われるほどになった。ボクシングは
必ず勝ち負けという結果が出る。そのこ
ろがTOTOに「悩んでも結果はどうせ
黒か白。なるようになる」という気楽さ
を与えてくれたと思っている。

それでも、電話でアルバイトの問い合
わせをしたら名前と国籍が違うという
だけで、面接さえ断られたこともある。
そのときは落ち込んで、一時は日本国籍
にしたいとさえ思った。しかし結果的に、
雇ってくれた別のアルバイト先では、と
てもいい人たちにめぐりあえた。だから

に対して、また人生そのものに対して、気
負いや貪欲さは感じられない。この柳の
ようなしなやかさが、彼を強くしている
のかも知れない。そしてカッコイイ。

TOTOは笑いながら語る。「いつか世界
チャンピオンになったら、日本から出たべ

「国籍の違いにどう反応するかで、いい
人かどうかを判断することができると
気付いた」という。

ボクシングに未来をかける

県立西宮香風高校(定時制)二年で
TOTOははじめて全国大会に出場し、
ベスト八になった。「俺ってボクシング強
いかも」と思った。それがきっかけで注目
されることになり、推薦によって大学に
進学した。

その後も、彼のような攻めるボクシ
ングはプロ向きだと、たびたびスカウトさ
れてきた。プロへの転機へのきつかけを
与えてくれたのは、大学での大学王座決
定戦だった。世界的な試合もおこなわれ
る会場で観客の大声援のなか、全国大会
優勝経験者を相手にKO勝ちしたのだ。
これまで味わったことのない興奮を経
験した。「この会場でまた勝つ試合をし
たい!」、プロになる決心であった。その
後、彼は大学を中退してボクシングジム
に通い、全日本社会人選手権で優勝し、
プロボクサーとしてデビューした。

ペルー人ということを意識してつねに
表現したいわけではない。それでも試合
中ペルー人の声援が聞こえると「体のな
かの血が燃える」。最近やっと気付いた
んです。俺ってやっぱりボクシングが好
きだって」。そして、その自分が好きでし

ル人ボクサーとして有名になる。そした
らそれは当然、高校時代にペルー人だから
といってアルバイトの面接さえしなかつた
人を見返すことになるでしょ?。やっぱ
り、あの経験は心に残っていたよ。うだ。